作成日：2022 年 10 月 17 日

島根県立中央病院で診察を受けられる患者さんへ

当院では、以下の研究を実施しております。
本研究の対象者に該当する可能性のある方で、ご自身の試料・情報を研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。
ただし、すでに解析を終了している場合には研究データからあなたの情報を削除できない場合がありますので、ご了承ください。

研究題目	当科における大動脈弁位 Mitroflow の中期遠隔成績
研究期間	2022 年 11 月 9 日　～　2022 年 12 月 31 日
対象患者	2013 年 12 月 1 日～2022 年 8 月 31 日に大動脈弁狭窄症もしくは大動脈弁狭窄兼閉鎖不全症に対し、Mitroflow 弁を用いて大動脈弁置換術を行った患者さん
調査対象期間	2013 年 12 月 1 日～2022 年 12 月 31 日
研究機関の名称	研究代表機関：島根県立中央病院　心臓血管外科
当院研究責任者	心臓血管外科　山内正信
意義・目的	当科での 15 例の Mitroflow 弁使用症例について、手術前後の患者さんの状況について調査し、Mitroflow 弁の選択基準と術後の観察方針の再検討を行い、今後の治療の改善を図ります。
研究内容	電子カルテシステムを利用して、下段に示す項目を抽出します。抽出データを基に、患者さんの術前背景と手術時の状況（併施手術、使用弁サイズとモデル、有効弁口面積）、術後結果（生存・死亡、心臓関連合併症（死亡、再手術、SVD、心房細動、永久ペースメカー植え込み）、術後の心エコー所見（平均大動脈弁圧較差の推移、Kaplan-Meier 法による全死亡及び心臓関連死亡回避率、再手術及び SVD 回避率）を明らかにし、Mitroflow 弁の選択基準及び術後観察方針の再検討を行います。
利用・提供する試料・情報の項目	以下の項目について評価を行います。 ①術前：年齢、性別、体表面積、基礎疾患、術前の心エコー所見（左室駆出率、平均大動脈弁圧較差、弁口面積）、CT 画像（再手術例のみ） ②手術時：併施手術、使用弁サイズとモデル、有効弁口面積、摘出人工弁所見（再手術例のみ） ③術後：生存・死亡、心臓関連合併症（死亡、再手術、人工弁機能不全 SVDD、心房細動、永久ペースメカー植え込み）、術後の心エコー所見（平均大動脈弁圧較差の推移）、Kaplan-Meier 法による全死亡及び心臓関連死亡回避率、再手術及び SVD 回避率
試料・情報の他機関への提供有無	□あり 提供方法： 海外の機関への提供　□あり・□なし ■なし
個人情報の保護	当院における個人情報保護の基本方針に準じて行います。

結果の公表	島根県立中央病院医学雑誌で公表予定です。
備考	

*******　お問い合わせ先　*******
島根県立中央病院
研究責任者：心臓血管外科　山内正信
電話：0853‐22‐5111
****